



花巻市友好都市交流委員会の活動を紹介する情報誌です。題名は、ひらつか、とわだ、花巻の頭文字をとって名付けました。

3年ぶりにわんこそば大会が開催されました

2月11日、第65回わんこそば全日本大会が開催され、平塚市から3人の食士とプレゼンターとして湘南ひらつか織り姫の3人が参加しました。織り姫には抽選会にて平塚市のPRをしたのち、表彰式では介添えをしていただきました。食士として参加した3人は団体の部に出場しました。3人は大会が終わってから一関へ出発し、花巻だけでなく岩手の観光も楽しんでいただきました。

大会前日の2月10日の昼には、織り姫と随員の府川主事、食士の随員として来花した令和元年度交流職員の内田主事が到着しました。新花巻駅に到着後、金婚亭で「体験わんこそば」を食べ、商工会議所にて当委員会の佐藤会長に挨拶しました。

その後は花巻市観光課に挨拶し、宮沢賢治童話村、宮沢賢治記念館を見学しました。その後は宿泊場所の花巻温泉紅葉館へ。花巻温泉では3種類の温泉に入り、満喫できたようです。



抽選会で平塚PRをしている様子



帰りの新幹線に乗る前 日和佐にて



「友好都市ひらつかチーム」として団体の部に出場した、大垣華琳さん、鈴木詩乃さん、山田風香さんの3人。3人もわんこそば未経験ですが、50杯以上とすばらしい食べっぷりでした。

金婚亭でわんこそば体験



童話村で写真撮影



左から、内田さん、織り姫の小林さん、篠崎さん、佐藤会長、織り姫増尾さん、府川さん、事務局佐々木

十和田市から景品を提供いただきました

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で参加を控えた十和田市からは、景品として「特産品詰め合わせ」を提供していただきました。毎年、団体の部に出場する食士と物産展、応援団が来花しています。

十和田市からの景品を渡す様子



わんこそば全日本大会

友好都市学校給食交流が開催されました



令和5年1月24日（火）から30日（月）にかけて、平塚市と都市提携委員会主催で友好都市学校給食交流が実施されました。平塚市では岐阜県高山市、静岡県伊豆市、花巻市から、花巻市では平塚市から提供されたレシピをもとに作った友好都市の料理を、それぞれの市内の小・中学校の給食にて児童・生徒に食べてもらう事業です。

花巻市内の小・中学校では「あじフライ」や「しらすいりきんぴらごぼう」などが提供されました。事務局が取材した湯本小学校では、さとこまじる、さばのぴりからやき、しかの（しらす、かつおぶし、のり）あえもの、イチゴセリーが提供されました。児童たちは、さばのぴりから焼きについて「あぶらがたくさんついておいしかったし、ぴりからがちょうどいいからさでよかった」、しかのあえものについて「色々な具材があって食感も楽しむことができたし、平塚市の有名な食材もとてもおいしかった」ととても好評でした。

平塚市では「ひつつみ」が提供されました。食材が豊富に入っていて、モチモチの触感が好評だったようです。



湯本小で提供された給食



友好都市の説明をする西館先生



給食を食べる児童



急なお願いにも関わらず取材に対応いただいた湯本小学校のみなさん、ありがとうございました！



第38回友好都市花巻の物産と観光展

2月23日から2月26日まで、ひらつか市民プラザで花巻の物産と観光展が開催されました。令和2、3年度は取り寄せでしたが、3年ぶりの開催となりました。

販売されたのは産地直送の農産物、菓子、漬物、ワイン、地場産品など計140点。花巻温泉の新名物である、ぎっしり詰まった粒あんが特徴の「花巻温泉あんぱん」が平塚初登場しました。当日はイベントが盛り沢山で、花巻の特産品があたるお楽しみ抽選会や、フラワーロールちゃんの写真をSNSで投稿する、SNSキャンペーン等が行われました。



次回の発行は、6月を予定しています。



「花巻市友好都市交流委員会」の活動をHPで紹介しています。
<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/hanamakicity/shimaiyukotoshi/1002454.htm>

